

大野岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和5年7月3日発行

文責 校長 中尾 聡彦

「南パタピカリン大作戦」

6月16日に「南パタピカリン大作戦」が行われました。この取り組みは、5年生から9年生が、日ごろお世話になっている南波多町を感謝の気持ちを込めて清掃することでふるさとを大切にすることを育てることを目的としています。本校の教育目標である「ふるさとを愛し、夢・志をもつ児童生徒の育成」を見守る児童生徒会が自分たちの活動として計画してくれました。とても頼もしく思いました。昨年度は、民生委員や福寿会の皆様と一緒に清掃活動を行うことを前提に計画されていましたが、今年度は児童生徒会の美化委員会から民生委員や福寿会の代表者に目的や計画を提案し、協力を求めるという形で進められました。



美化委員会が提案する中で、「農繁期の一番忙しい時期なので、来年度は実施時期を考えてほしい。」という意見もありました。年度当初に「わたしたちの『郷学館』は、わたしたちが創る」というテーマを見守る児童生徒に示しました。自分たちの思いや考えを伝え、大人と議論しながら、互いの意見を納得のいく形で一致させていくことは、子どもたちの将来において非常に大事な力となると思います。

暑い中に、ご協力いただきました民生委員や福寿会の皆様、本当にありがとうございました。

地域の方々に支えられている学校「南波多郷学館」

6月に入り、地域の方々による教育活動が本格的に始まりました。

「おは梨の木」のみなさんのやさしい読み聞かせは、子どもたちのまなざしから心に染み入っている様子が伝わってきます。

「川柳教室」は、どの学年においても子どもたちの感性に驚かされます。

どちらの活動も長い歴史があり、このような地域の方々の温かい支援がこの学校の財産だと改めて感じています。本当にありがとうございます。

中体連壮行式がありました

6月23日に「中体連壮行式」がありました。本校からは、ソフトテニス部(男子)、卓球部(女子)、バレーボール部(女子)が中体連に出場します。また、地域スポーツ団体に所属する生徒については、バドミントンと陸上、バレーボール(男子)に出場します。放課後の練習の様子を見ていますと、その一所懸命な姿に心を打たれます。



壮行式では、健康委員長の言葉の後、各部活動から中体連にかける意気込みが語られました。

私からは「中体連が貴重な経験になるのは、これまでに費やした努力があるからです。また、確認してほしいのは、共に追い求めた仲間との絆です。そして、『最後の最後まで、勝負をあきらめない！』最後は、これまでの努力や仲間との絆に裏打ちされた『気持ちの強さ』が勝敗を決めることになると思います。自分のために、仲間のために『最後の最後まで、勝負をあきらめない！』南波多郷学館のすべての先生方、そして児童生徒でみなさんを応援しています。」と話しました。成績や奮闘ぶりなどについては、8月の学校だよりでお知らせします。

「いのちの重み」「言葉の重み」について

6月26日、27日にかけて、すべてのステージで平和について考える「こころの広場」がありました。子どもたちにとっては、戦争という事実から日常生活の平和について考える大切な時間になったと思います。これから、子どもたちがあたたかい人間関係を築いていくためには、「いのちの重み」「言葉の重み」について考えていくことが大切だと感じました。

伊万里市で「いのちの教育」指導資料を作成した際に、市民の方から投稿していただいた文章を紹介します。ご家庭でも話題にさせていただくことができればと思います。

わが子への手紙 「あなたへ」

あなたは、お父さんとお母さんの大事な大事な宝物です。お姉ちゃんが生まれた時と同様、あなたが生まれてくれた時の涙が出るほどの感動を今でもはっきり覚えています。

生まれようとして生まれることはできません。神様があなたを私たちのところへくださったのです。そして、あなたの友だちも、みんなみんな、お父さん、お母さんに愛されていることはどこの家族でも同じです。親が子どものことを思う時、無償の愛がそこにあると思います。そんな子どもたちが、互いに傷つけ合ったりすることはたえられません。相手の傷みが分かるような思いやりのある心を忘れず、友だちと仲良く、学校で楽しい時間を過ごしてください。

キリトリ

【通信欄】 ご感想・ご意見をお寄せください。 (年保護者 氏名)

この QR コードを読み込まれると、南波多郷学館のホームページをご覧になれます。

